

## 投資信託ってなに？

「投資信託」は、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する金融商品で、その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みになっています。

投資信託の運用成績は市場環境などによって変動するので、運用がうまくいって利益が得られることもあれば、運用がうまくいかず損をすることもあり、元本が保証されている金融商品ではありません。しかしながら、投資信託は個人が「豊かで幸せな人生」を過ごしていく上で大切な「資産形成」をするのに使い勝手の良い金融商品でもあります。

### Q 投資信託にはどんな特徴がありますか？

- 1 株式や債券への投資にはある程度まとまった資金が必要ですが、投資信託の多くは1万円程度から手軽に始めることができます。
- 2 投資家一人ひとりの資金は少額でも、これをひとつにまとめて大きな資金として運用するので、複数の資産や銘柄に分散投資をすることが可能となります。分散投資により投資のリスクを小さくすることができます。
- 3 集めた資金は、投資信託ごとに定めた運用方針に基づき、専門家が運用します。

### Q どんな仕組みなのでしょう？

投資信託は、販売・運用・資産の保管などの業務を行う機関が、それぞれ専門の役割を果たしています。それぞれの業務には、一定の手数料を支払うことになります。(右図参照)

#### ・販売会社（証券会社、銀行など）の役割

投資家ごとの口座を管理し、投資信託の販売や換金、分配金・償還金の支払いなどを行います。また、投資家からの質問に答えたり、相談にのったりもします。

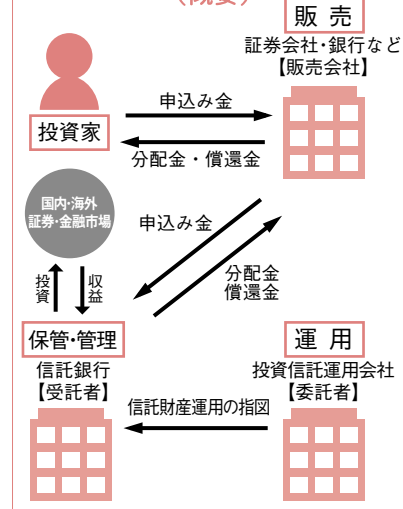
#### ・投資信託運用会社の役割

投資信託を作り（設定）、投資家から集めた資金（信託財産）を運用します。運用会社では、経済・金融情勢などに関するさまざまなデータを収集・分析し、信託銀行に対して運用を指図します。

#### ・信託銀行の役割

投資家から集めた資産を大切に保管・管理し、運用会社からの運用の指図に従って、株式や債券などの売買や管理を行います。

### 投資信託の仕組み (概要)



### Q どんな種類がありますか？

投資信託は、投資対象によって大きく2つに分かれます。株式を組み入れて運用することが可能な「株式投資信託」と株式を一切組み入れない「公社債投資信託」です。その他、取引所に上場されるETF（指数に連動する投資信託）やREIT（不動産に投資する投資信託）もあります。2014年1月から開始されるNISA＝少額投資非課税制度（くらし塾 きんゆう塾 2013年夏号を参照）では、株式投資信託と上場されているETFやREITも対象となっています。

### Q 元本割れが怖いのですが。

投資信託は預貯金とは違って元本保証の金融商品ではありませんが、「投資」の3原則 1) 資産分散 2) 時間分散 3) 長期運用 により、リスクを軽減させることができます。投資信託はそもそも複数の資産や銘柄に投資するものなので一般的に1) 資産分散は備わっていますが、さらに、一つの投資信託だけでなく、他の金融商品や他の投資信託に分散投資することや、時期を分けて購入する 2) 時間分散、短期的な価格変動にとらわれずに 3) 長期運用を心掛けることが大切です。→詳しくは投資信託協会のHPをご覧ください。